



図書館員のおすすめ本



小学生

低学年（１・２年生向け）

『どっち？』

キボリノコンノ 作／講談社



【内容紹介】

おいしそうなかステラ、たくさんならんだマカロン、袋に入っていた焼き…実はひとつだけ、木でできたものが混じっています。どれだか分かるかな？ひとりでもみんなでも楽しめるクイズ絵本です。

【図書館員からのコメント】

すぐに分かるだろうと思いながらも、ページをめくるにつれ本物と見分けがつかず、なかなか正解できませんでした。とても木彫りとは思えない作品に、子どもも大人も夢中になること間違いなし！あなたも挑戦してみませんか？

中学年（３・４年生向け）

『絵で見て楽しい！ はじめての和の音楽』



上野 哲生 著／すばる舎 刊
【内容紹介】すばる舎ホームページ引用
小学校の音楽の授業で、琴・三味線・和太鼓など、「和の音楽」について勉強する機会も多いのではないのでしょうか？

日本に伝わる和の楽器や音楽について学んでみましょう。

日本の歴史の中で貴族や武士が弾いた楽器が、現代でも美しく奏でられています。

【図書館員からのコメント】

「和の楽器」の音色は、私達の心に響くものがあります。西洋の音楽を聞く機会も多くありますが、日本の伝統的な楽器の魅力を味わってみませんか。

高学年（５・６年生向け）

『だれもが「本を読める」社会へ

読書バリアフリー 全3巻』

白坂 洋一 監修／汐文社



【内容紹介】

「読書バリアフリー」という言葉を最近耳にすることが多いかと思います。しかし、具体的にどのようなものなのか、説明することは難しいのではないのでしょうか。このシリーズではさまざまな人に合った読書の仕方が紹介されています。

【図書館員からのコメント】

本を読むという言葉から想像できることは紙をめくり、目で字を理解することだと思います。しかし、「読む」ことは人によっていろいろな方法があります。このシリーズを通して「読む」ことについて学んでみませんか？

中学生

『13歳からの自分の心を守る練習』

谷本 恵美 著／PHP 研究所



【内容紹介】

インターネットやSNSが進化して、世界中の人と簡単につながることができる現代。便利な一方で、傷ついたり落ち込んだりすることも多くなります。13歳から大人までずっと役に立つ「自分の心を守る技術」を基礎から説明し、自分・他人との距離感の身につけかたを伝えます。

【図書館員からのコメント】

「自分の心を守る技術」がたくさん紹介されています。会話形式とイラスト満載で分かりやすく解説されているので、読みやすく心が楽になる一冊です。

『10代からのヘルスリテラシー 薬物』

松本 俊彦 監修／大月書店



【内容紹介】

薬物依存といわれると覚せい剤や大麻などの違法ドラッグを想像するかもしれませんが。

しかし身近なもので、エナジードリンクや市販薬などでも薬物依存症のきっかけになったり、オーバードーズを引き起こすことがあります。

この本は、薬物依存や身近な危険についてわかりやすく解説されています。

【図書館員からのコメント】

勉強の合間にエナジードリンクを飲んだり、コーヒーや紅茶を飲むことがあるのではないのでしょうか。一日にどのくらい飲んでいいのか、また怪しい薬物に対してどうすればいいのかを知る機会になればと思います。

『出てこい、写楽！～蔦重編集日記～』

楠木 誠一郎 作

平沢 下戸 絵

静山社 刊



【内容紹介】静山社ホームページ引用
江戸の日本橋にある版元『耕書堂』。

（版元：本を作って売る商売）

主人は蔦屋重三郎。奇抜なアイディアで人気の作品を世に送り出しています。

一番人気は写楽の浮世絵ですが、何やら大きな問題を抱えているようで……。

【図書館員からのコメント】

人気作品を世に送り出す江戸のヒットメーカー、蔦屋重三郎。蔦重と呼ばれ、作品は今なお日本人に愛され続けています。ヒットの陰にはどんな苦勞が？